

食べるって、命をいただくこと 命をはぐくみ、支える 農業の本当の姿をつたえたい

私たちJAバンクアグリ・エコサポート基金の食農教育応援事業。全国の小学校高学年を対象に補助教材を制作し贈呈するほか、JAなどが行う食農教育活動に助成しています。

この助成事業を毎年利用している熊本県のJA菊池では、菊池農業高校と一緒に、地元の子どもたちに食農教育を行うモデル的な活動を10年以上続けています。農業や農家の魅力、環境や地域との関わりについて、農高生は先生役となり、普段の経験を生かしたみずみずしい感性で子どもたちに、つたえています。

農業高校という初めての実践の場で実感した農業や農家の本質的な魅力や価値。農高生たちはそのことに「気づいてほしい」、「もっと知ってほしい」と願い、子どもたちに語りかけるのです。



農高生がつたえたい、農業のチカラ

農業科3年 西山さん

「農業は生命産業って言われます。農家はそのことに誇りを持ち、使命を果たそうと努力しながら、同時に楽しんでいるところがすごいんです」

畜産科学科3年 緒方さん

「普段飲んでる牛乳も、母牛が赤ちゃんを産まないといわれれば飲めません。何度も牛の出産に立ち会ううちに、私たちが食べる農産物の命は自分の中で生きているという確信になりました」

畜産科学科3年 野嶋さん

「農作業体験などを通して農家の努力を少しでも感じてもらえれば、「いただきます」の本当の意味が分かると思います。農業に対する見方が変われば、牛も人間と同じで一頭ごとに顔つきが違うことに気づけるかも」

農業科3年 大嶋さん

「大自然と触れ合う楽しさや、手間をかけた分だけ結果が出るおもしろさがあります」



1500万人の子どもたちが手に JAバンク補助教材「農業とわたしたちのくらし」

小学5年生を主な対象に、食農教育・環境教育を基本テーマとした補助教材で、平成20年度から全国の小学校などに配布してまいりました。子どもたちとともに10年以上にわたってその歩みを進め、配布累計数は約1500万部に達しました。

全国の農家やJAは消費者が喜ぶ農産物を作ることを目指し、農業についてよりよく知ってもらう活動にも力を入れています。

私たちJAバンクアグリ・エコサポート基金は子どもたちの心に農業を大切にする思いをはぐくみ、農家やJAの取り組みをささえています。

JAバンク食農教育応援事業とは

一般社団法人JAバンクアグリ・エコサポート基金は、平成20年度から小学校の社会科を中心とした授業で活用いただくことを目的に、JAバンク補助教材「農業とわたしたちのくらし」を制作しており、小学5年生を主な対象に、毎年100万部以上を全国に配布しています。教育活動助成として、子どもたちへの農作業体験活動などに対する助成も行っており、日本全国の食農教育を幅広く後押ししています。

JAバンク食農教育応援事業

検索